

赤間地区コミュニティだより

第6号  
平成17年12月1日

発行/ 赤間地区コミュニティ  
運営協議会広報委員会  
TEL・FAX/ 0940-32-5640  
印刷/ 企画 萌  
TEL 0940-32-5662

http://www.munakata.jp/wawawa

赤間地区コミュニティだより

第6号

平成17年12月1日

発行/ 赤間地区コミュニティ  
運営協議会広報委員会  
TEL・FAX/ 0940-32-5640  
印刷/ 企画 萌  
TEL 0940-32-5662

http://www.munakata.jp/wawawa

## まちづくり懇談会

### コミュニティのあり方などで市長と懇談会

九月三十日(金)働く女性の家で市長などの参加で懇談会を開催しました。懇談会は、コミュニティの役員と区長、赤間地区出身の市議会議員、各区の傍聴者など総勢五十六名の参加があり多くの意見が出されました。



## 2、市が目指しているコミュニティは

市は、赤間地区には十八年度にセンターを建設すると説明しました。地元から「コミュニティは、まだ住民に十分理解されていない。自治会などで説明会を開催することなどが大事」という意見が出されました。

## 1、市補助金の見直し、どうなっているの

市は、十八年度から、各種補助金を見直す説明しました。これには「敬老会などの補助金は必要ではないか」「市の財政状況が分かるバランスシートなどを公表して欲しい」などの意見が地元から出されました。

## 3、災害時の市の取組み、どうします

市は、避難場所やルートの案内表示など、全体計画の見直しをすすめていると説明しました。

## 4、介護予防の取組みについて

市は、新しいセンターでは、介護事業のモデル地区としていきたいなどと説明がありました。

地元からは「介護予防は市として重要な施策になる。センターに介護予防器具などを設置すること」などが要望されました。

その他、コミュニティ事務局に軽貨物自動車の配車を検討する。市議会の議事録を届けるなどの回答がありました。

## 講演会の開催

十月二十三日(日)働く女性の家において、健康福祉部会と環境整備部会合同の講演会が開催されました。第一部は、ウエルカム・テントクルリニツクの医学博士中島幸一先生による「口は禍いのもと、患いのもと」、第二部は宗像警察署の生活安全課防犯係の小坪正美係長による「地域の安全対策」という演題でした。どちらのお話も私たちには身近な内容で、七十名の参加者は約二時間の講演に熱心に聞き入っていました。中島先生の講演内容を紹介します。

「口は禍いのもと、患いのもと」生きる原点としての口、ウエルカム・テントクルリニツク 医学博士 中島幸一

現代疾患の主たるものは、生活習慣病です。これらの疾患はライフスタイル(喫煙・飲酒・ファーストフード等々)を変えることで抑制できます。即ち、「認識の程度に病み、認識の程度に治る」のです。「死の四重奏(高血圧、高血糖、高脂血症、肥満)は死を招く」と言われていますが、

私も「死の四重奏は、歯を招く」と主張しています。それは私どものデータでは、よく噛んで食べる場合と噛まないで食べる場合とは、血中の総コレステロール値が大幅に変わることが実証できているからです。つまり、よく噛んで食べるのと内科的所見で高脂血症にも分類されず、抗高脂血症剤も投与されずに済むということなのです。きれいな歯並びの正しい噛み合わせで「ゆっくり、しっかりと、楽しく、よく噛んで」食べていると、生活習慣病の発病が抑制でき、「健康寿命」を全うできるのです。「口は生きる原点」として重要性を日常生活に取り込み、実践すると「口福な人生」があなたのものになるでしょう。



講師 中島幸一氏

# みなさんの声を受けて 赤間地区コミュニティの区長会が要望しました。

## 【県道町川原・赤間線の道路及び歩道整備について】

この県道は自由ヶ丘と赤間地区にかかる道路であるとともに赤間小学校の児童の通学路でもあります。この道路は車の通行量が多く西鉄バスも通っています。特に赤間、石丸、陵厳寺地区から通学している児童は狭い側溝の蓋（巾七十七センチ）を利用した歩道を通つ

ています。過去に児童とバスの接触事故も発生しており、地元の区長さんもこの問題を改善したいと献身的に努力をしておられるので区長会としてもこの問題を取り上げ地元出身の県議及び市長、議会に要望書を提出しました。



赤間小学校付近の通学路

## 【構口の信号改善について】

ここは赤間商店街の入口で十字路になっており、赤間、石丸、陵厳寺地区の小学校児童の通学路になっています。しかし、現在点滅信号のため道路を渡るのに躊躇する場合が多く、重大な事故が発生する可能性が

高い交差点です。すでに事故が発生しており、子どもたちの安全を守るため区長会としてこの問題を取り上げ、宗像警察署に要望書を提出しました。



赤間区構口（かまえぐち）の交差点

## 【田久地区浸水対策について】

田久地区は、昭和五十四年から平成十五年まで六回にわたって水害が発生しています。この間、平成七年から要望書、請願書等が六度にわたり提出されていますが、十分な対策がされな

いまま今日に至っています。地元の区長さんも献身的に努力しておられますので、区長会としても微力ながら援助することになり、区長等八名で地元出身の県議に口頭であります、要望しております。



平成11年6月29日の水害で浸水した田久地区

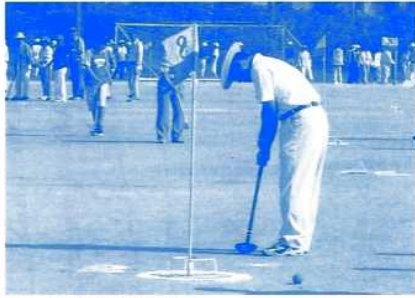
### 公民館活動 部会

今秋の行事は、九月十八日(日)に城山中学校グラウンドでグラウンドゴルフ大会を開催し、一般交流の部・広陵台一丁目、世代間の部・田久が優勝しました。

十月十三日(木)に行われた城山中学校文化祭行事に参加し、各区から応募された作品を展示しました。

十一月六日(日)の城山ふれあい登山は残念ながら雨のため中止となりました。

十二月にはお手玉あそび宗像市大会に参加いたします。各区からの多数の参加をお願いします。



9月18日(日)  
城山中学校でグラウンドゴルフ

### 青少年育成 部会

映画鑑賞会 「ハッピーバースデー」を六月十七日に城山中学校で上映。

CAP(子どもの虐待防止プログラム) 七月二十六日、子どもをあらゆる暴力から守る為に大人は何かができるかを「CAP Groupえん」の皆さんをお迎えして参加者と一緒に考えました。わかりやすい寸劇などを混ぜえ日ごろの子どもへの接し方を見つめなおすよい機会となりました。

冬に再度実施予定です。

赤間なかよしサロン 七月より親子同士の交流を目的に、二ヶ月に一度赤間公民館で開催しています。次回は一月十九日(木)十時〜十二時。情報交換の場として、二十組近くの親子が楽しく参加されています。



9月18日(日)  
城山中学校でグラウンドゴルフ

### 健康福祉 部会

今年度の活動のうち、現在までに「日の里」コミセン健康福祉部会との交流研修会、「親子で作る楽しい料理教室」「健康福祉部会・環境整備部会合同講演会」「九電ケアタウン・特別養護老人ホームの視察研修」を実施いたしました。

講演会におきましては、一ページに掲載しておりますのでご参照ください。

今後の活動予定は、

〇講演会  
十二月十一日(日) 十四時〜  
場所・働く女性の家  
日本赤十字九州国際看護大学  
原 等子先生による  
「認知症は病気です」  
〜正しい理解で、上手につきあつては?〜

この他、障害体験学習、世代交流事業として昨年作成された「作ってあそぼうテキスト」を使って各自治会活動を支援していく予定です。

お気軽にご参加いただけます。ますますようお願いいたします。

### 環境整備 部会

花による美化運動

春の花苗の植え替えに続き、十月十九日には秋の花苗をプランターへ植え替え、働く女性の家・赤間公民館(コミュニティ事務局)・教育大前駅に設置しました。

講演会の開催  
十月二十三日、健康福祉部会と合同による講演会を開催しました。

地域清掃活動  
十月三十日午前九時から釣川支流名残川の清掃活動を行いました。約一、五キロを上流・中流・下流の三班に分かれ、川の中に入つての清掃で見違えるようにきれいになりました。七十九名のボランティアの方々、大変お疲れ様でした。



### 地域づくり 部会

赤間地区商工会や関係の団体と協力して、大道芸まつりは楽しく盛大に無事行われました。天気にも恵まれ、訪れた方々は、立ち並ぶ出店で買物をしたり、各ポイントの大道芸に拍手をしたり、おどつてん祭のエネルギーギッシュな雰囲気に見入つたりしていました。

二月十八日(土) 十九日(日)には赤間宿まつりを勝屋の感開きと合わせて開催しますので、ご参加ください。

9月23日(金・祭日)  
大道芸まつりで舞うヨサコイ



9月23日(金・祭日)  
大道芸まつりで舞うヨサコイ



### ■ 緑町区 ■

緑町は国道三号線沿いの丘陵地帯を住宅団地として造成し、昭和五十七年三月「緑町ネオポリス」の名称で売り出され二十二年経過しました。

現在六組百四十六を超え、世帯になりました。行政区として自治会が発足したのは昭和六十一年四月です。昭和六十三年三月には区民待望の公民館が開設されました。

#### 《活動》

平成三年四月には、老人クラブが発足しました。毎月第二火曜日を月例会と定め、町内の道路クリーン活動実施の後、公民館で支部長会の報告を中心に、会員相互の情報交流を図っています。子ども会も、『廃品回収の手伝い及び草取り(毎月)』

『新一年生歓迎会』、『夏休みキャンプ』、『緑町夏祭り参加』など活発に活動しています。

また、雨降神社もあり、その由来は、干ばつの時には、焚き火をして雨乞いをしてきたとの説もあります。



緑町入口



雨降神社

### ■ 桜区 ■

桜は、ちょうど葉山と徳重区の間にあります。ここは平成十年に自治区が立ち上がって七年のまだ

新しい地域です。

現在、住居戸数は約六十。奥の方は宅地用としてきちんと造成してありますが、今のところあまり家が建っていません。まだまだ桜区では住民同士のコミュニケーションが活発ではありません。中には隣の組でも顔を知らないという人もいます。

そこで桜区では、住民同士のつながりが深まる行事になるよう自治会で工夫しています。最大のイベントは「桜夏まつり」です。内容はバーベキュー、ゲームやフオークダンスを行います。各組でコミュニケーションがとれるよう、構成を組単位で行うようにしました。

この他、秋のレクリエーションを行って行きます。近年では室内での軽スポーツや簡単なレクリエーションを企画しました。これも、普段はあまり話さない人同士が交流できる機会となっています。

これらの行事を通して、今後も住民同士の輪が大きくなりつながりになるように

にしていきたいと思えます。何かがあったときにお互いが気遣いや声かけができる、そんな暖かい地域にしていきたいと考えます。



桜夏まつり

### ■ 栄町区 ■

赤間駅南口に接した栄町は、ビルやマンションなどが立ち並んでいます。現在自治会はありませんが、住み良いまちづくりのため、今後赤間コミュニティと協議がすすむばと思えます。



栄町周辺(赤間駅前)

## 編集後記

十一月に入り、もう、今年も残すところわずか。

ホークスも年間を通じて一位の成績ながら、プレーオフでロッテに優勝されて、複雑な気持ちになった今日この頃。

さて、コミュニティ活動も活発に動き出しました。

今回は、市長との懇談会、区長会から提出された要望書内容、各部会活動等を掲載しております。

ご意見、ご質問もお気軽に事務局まで。

### 平成十七年度 広報委員

- 平田 利之・徳重 雅一
- 宮崎 和善・中野 剛
- 片岡 龍一・立花 敏昭
- 仲尾 等・宮本 秀臣
- 清水 睦美・實田 照香

